

## 平成22年2月期 第2四半期決算短信

平成21年10月13日

上場取引所 東大

上場会社名 エスフーズ株式会社

コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村上 真之助

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営管理本部長

(氏名) 富沢 進

四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日

配当支払開始予定日

TEL 0798-43-1065

平成21年10月30日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年2月期第2四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	59,069		2,934		3,020		1,225	
21年2月期第2四半期	57,937	3.6	2,275	26.9	2,355	17.2	1,006	3.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年2月期第2四半期	39.83	
21年2月期第2四半期	31.24	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	%
22年2月期第2四半期	55,865		31,484		50.7		1,011.64	
21年2月期	50,721		33,069		59.1		930.42	

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 28,337百万円 21年2月期 29,973百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年2月期		11.00		11.00	22.00
22年2月期		11.00			
22年2月期(予想)				11.00	22.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	123,000	4.7	5,200	1.5	5,200	1.4	2,200	1.7	74.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第2四半期	32,267,721株	21年2月期	32,267,721株
期末自己株式数	22年2月期第2四半期	4,256,145株	21年2月期	53,050株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第2四半期	30,774,791株	21年2月期第2四半期	32,216,568株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想の1株当たり当期純利益については、自己株式数の変動に伴う調整計算値としております。その他業績予想については、平成21年4月14日に発表いたしました数値に変更はございません。

2. 連結業績予想に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって上記予想とは異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、製造業においては輸出の持ち直しや在庫調整によりやや回復の兆しが見えるものの、新型インフルエンザや冷夏などの影響もあり、全体的に回復基調には乗り切れていない状況でありました。食品業界におきましても、消費の伸び悩みから消費者物価の下落に歯止めがかからず、厳しい経営環境にさらされております。

このような環境下、当社は「おいしさと健康を愛する魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する」という経営理念に立ち返り、消費者の皆さまに安心して召し上がっていただける食肉食品を安定的にお届けするべく、また、当社グループにおいても同様に事業活動を行って参りました。

食肉の[卸売事業]においては、当社独自のプログラムで育成した和牛ブランド「WAGYU MASTER」、ブドウの搾りかすを飼料として育成した「神戸ワインビーフ」、豪州で日本仕様に肥育した「Naruo牧場」などのオリジナルブランド牛肉を中心として、マーケットシェアの拡大と安定的収益の確保に努めました。[製品事業]においては、「こてっちゃん」ブランドの充実を図り、味のバリエーションとして辛口の「こてっちゃん野菜炒め用」、派生製品として「こてっちゃん鉄板焼き」を発売し、販売促進活動を展開いたしました。いずれも簡単に調理でき、ご家族みなさんで楽しんでいただけるご飯のおかずとして開発された商品で、内食回帰の流れに合わせたものです。[小売・外食事業]においては、顧客数の減退や客単価の低下対策に工夫をこらして、堅実な営業活動を行ないました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高590億6千9百万円、営業利益29億3千4百万円、経常利益30億2千万円、四半期純利益12億2千5百万円となりました。

事業別の売上高は、卸売事業が303億6千9百万円、製品事業が159億2千9百万円、小売・外食事業が126億9千万円となりました。

所在地別セグメントの業績は、「日本」は売上高575億2千2百万円、営業利益26億7千7百万円、また「アメリカ合衆国」は売上高19億6千8百万円、営業利益2億5千4百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて51億4千4百万円増加し、558億6千5百万円となりました。これは主に、新規子会社として九州相模ハム株式会社を連結したこと、営業活動によるキャッシュ・フロー収入などで預金が増加したこと、新関東ミートセンター（仮称）建設予定地の土地を取得したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて67億2千8百万円増加し、243億8千万円となりました。これは主に、新規子会社として九州相模ハム株式会社を連結したこと、社債及び長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて15億8千4百万円減少し、314億8千4百万円となりました。これは主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加（合計12億5千7百万円）に対し、自己株式取得による減少29億4千2百万円が上回ったことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは21億7千7百万円の収入で、主な増加要因は税金等調整前四半期純利益25億8千5百万円、減価償却費5億6千1百万円、減損損失4億2千2百万円、のれん償却額3億1千7百万円及び仕入債務の増加3億5千5百万円であります。一方、主な減少要因はたな卸資産の増加3億9千2百万円及び法人税等の支払額15億3千2百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは25億8千2百万円の支出で、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出18億1千4百万円及び短期貸付けによる支出6億円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは21億8百万円の収入で、主な増加要因は長期借入れによる収入44億4百万円及び社債の発行による収入15億円であります。主な減少要因は自己株式の取得による支出29億4千2百万円及び配当金の支払額3億5千3百万円であります。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より17億2千1百万円増加し、103億1千2百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度後半においても、一般消費者のマインドが好転する兆しが見られず、食品業界においては厳しい状況が続くものと予想されます。この環境下において、当社グループはよりリーズナブルな品質と価格を備えた製品、商品の開発・販売を進め、お客様のご要望にお応えして参ります。特に、近年需要が上向いている鍋物に注力し、「こてっちゃんもつ鍋」ほかの家庭用製品の拡販に取り組んで参ります。

通期の見通しについては、上述のような経営環境に鑑み、本年4月14日発表の業績予想に変更はございません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①簡便な会計処理

##### ・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

##### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法または低価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が46,955千円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

##### ③リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これに伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,301,566	9,281,913
受取手形及び売掛金	11,444,702	10,953,304
有価証券	35,155	77,936
たな卸資産	—	6,195,979
商品及び製品	4,813,115	—
仕掛品	1,373,780	—
原材料及び貯蔵品	617,061	—
その他	1,074,404	1,095,508
貸倒引当金	△145,208	△158,539
流動資産合計	30,514,578	27,446,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,176,294	12,950,942
減価償却累計額	△8,314,034	△7,352,607
建物及び構築物（純額）	5,862,260	5,598,334
土地	7,726,568	6,222,901
その他	11,435,431	10,746,513
減価償却累計額	△9,234,582	△8,739,482
その他（純額）	2,200,848	2,007,031
減損損失累計額	△883,520	△633,186
有形固定資産合計	14,906,156	13,195,080
無形固定資産		
のれん	1,274,077	1,591,429
その他	141,151	157,255
無形固定資産合計	1,415,229	1,748,684
投資その他の資産		
投資有価証券	5,170,877	4,527,535
その他	4,154,117	4,091,281
貸倒引当金	△295,428	△287,605
投資その他の資産合計	9,029,567	8,331,212
固定資産合計	25,350,953	23,274,977
資産合計	55,865,531	50,721,080

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,976,877	7,373,115
短期借入金	3,238,900	3,145,000
未払法人税等	1,201,603	1,427,695
賞与引当金	557,183	519,945
その他	3,015,738	2,539,763
流動負債合計	15,990,302	15,005,520
固定負債		
社債	1,217,000	34,000
長期借入金	4,692,571	651,270
退職給付引当金	575,922	481,659
役員退職慰労引当金	335,413	332,870
その他	1,569,584	1,146,591
固定負債合計	8,390,491	2,646,391
負債合計	24,380,793	17,651,911
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298,354	4,298,354
資本剰余金	11,952,550	11,952,550
利益剰余金	16,381,152	15,509,880
自己株式	△2,983,298	△40,874
株主資本合計	29,648,758	31,719,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,082,687	△1,469,248
繰延ヘッジ損益	△17,903	△1,358
為替換算調整勘定	△210,528	△276,236
評価・換算差額等合計	△1,311,119	△1,746,843
少数株主持分	3,147,098	3,096,101
純資産合計	31,484,737	33,069,168
負債純資産合計	55,865,531	50,721,080

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
売上高	59,069,738
売上原価	47,388,585
売上総利益	11,681,153
販売費及び一般管理費	8,746,818
営業利益	2,934,334
営業外収益	
受取利息	9,072
受取配当金	42,886
負ののれん償却額	24,302
持分法による投資利益	4,130
その他	144,208
営業外収益合計	224,599
営業外費用	
支払利息	44,617
その他	93,470
営業外費用合計	138,087
経常利益	3,020,846
特別利益	
貸倒引当金戻入額	32,582
その他	25,160
特別利益合計	57,742
特別損失	
固定資産処分損	37,507
投資有価証券売却損	3,515
減損損失	422,549
店舗閉鎖損失	22,338
その他	7,046
特別損失合計	492,958
税金等調整前四半期純利益	2,585,630
法人税等	1,243,401
少数株主利益	116,595
四半期純利益	1,225,633

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
売上高	29,999,585
売上原価	24,244,614
売上総利益	5,754,971
販売費及び一般管理費	4,415,665
営業利益	1,339,306
営業外収益	
受取利息	4,658
受取配当金	39,165
負ののれん償却額	14,397
持分法による投資利益	25,395
その他	59,798
営業外収益合計	143,415
営業外費用	
支払利息	26,642
自己株式取得費用	17,631
社債発行費償却	21,087
その他	14,425
営業外費用合計	79,785
経常利益	1,402,935
特別利益	
貸倒引当金戻入額	14,276
その他	16,391
特別利益合計	30,668
特別損失	
固定資産処分損	24,913
投資有価証券売却損	3,515
減損損失	422,549
投資有価証券評価損	△10,773
その他	9,707
特別損失合計	449,912
税金等調整前四半期純利益	983,690
法人税等	429,295
少数株主利益	39,634
四半期純利益	514,760

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,585,630
減価償却費	561,206
減損損失	422,549
のれん償却額	317,352
負ののれん償却額	△24,302
退職給付引当金の増減額（△は減少）	5,154
受取利息及び受取配当金	△51,958
売上債権の増減額（△は増加）	1,258
たな卸資産の増減額（△は増加）	△392,434
仕入債務の増減額（△は減少）	355,969
その他	△84,711
小計	3,695,713
利息及び配当金の受取額	48,880
利息の支払額	△34,361
法人税等の支払額	△1,532,966
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,177,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,814,777
無形固定資産の取得による支出	△7,294
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	296,239
短期貸付けによる支出	△600,000
その他	△456,432
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,582,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△185,620
長期借入れによる収入	4,404,900
長期借入金の返済による支出	△171,778
社債の発行による収入	1,500,000
自己株式の取得による支出	△2,942,424
配当金の支払額	△353,357
少数株主への配当金の支払額	△65,687
その他	△77,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,108,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,670
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,721,090
現金及び現金同等物の期首残高	8,590,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,312,030

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

当社企業グループは主として肉製品及び生肉加工品の製造、販売ならびに生肉の販売という区分に属する事業を行っており、また、市場及び販売方法等についても類似しております。

また、その他の事業については金額が少額のため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	29,206,018	793,567	29,999,585	—	29,999,585
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,823	243,266	253,090	(253,090)	—
計	29,215,841	1,036,833	30,252,675	(253,090)	29,999,585
営業利益	1,195,674	136,048	1,331,723	7,583	1,339,306

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	57,507,318	1,562,420	59,069,738	—	59,069,738
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,543	406,359	421,902	(421,902)	—
計	57,522,861	1,968,779	59,491,641	(421,902)	59,069,738
営業利益	2,677,767	254,692	2,932,459	1,874	2,934,334

(注) 会計処理基準に関する事項の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法または低価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が46,955千円それぞれ減少しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)  
海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月1日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、平成21年6月2日から平成21年6月29日までの期間に自己株式4,200,000株を取得いたしました。これにより、自己株式が2,940,000千円増加しております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第2四半期連結累計期間（平成20年3月1日～8月31日）

科 目	前年同四半期 (平成21年2月期第2四半期)
	金額（千円）
I 売上高	57,937,884
II 売上原価	46,828,435
売上総利益	11,109,448
III 販売費及び一般管理費	8,834,103
営業利益	2,275,345
IV 営業外収益	
1 受取利息	23,261
2 受取配当金	69,680
3 その他	150,469
営業外収益合計	243,411
V 営業外費用	
1 支払利息	25,990
2 その他	137,756
営業外費用合計	163,746
経常利益	2,355,009
VI 特別利益	
1 貸倒引当金戻入益	40,746
2 その他	24,816
特別利益合計	65,563
VII 特別損失	
1 固定資産処分損	24,752
2 減損損失	216,288
3 その他	48,390
特別損失合計	289,431
税金等調整前四半期純利益	2,131,141
税金費用	1,036,568
少数株主利益	88,104
四半期純利益	1,006,468

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第2四半期連結累計期間（平成20年3月1日～8月31日）

	前年同四半期 (平成21年2月期第2四半期)
区分	金額（千円）
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 税金等調整前四半期純利益	2,131,141
2 減価償却費	563,217
3 減損損失	216,288
4 のれん償却額	612,352
5 負ののれん償却額	△ 746
6 退職給付引当金の増減額（減少は△）	5,376
7 受取利息及び受取配当金	△ 92,942
8 売上債権の増減額（増加は△）	△ 2,796,477
9 たな卸資産の増減額（増加は△）	△ 917,905
10 仕入債務の増減額（減少は△）	2,181,365
11 その他	935,219
小計	2,836,890
12 利息及び配当金の受取額	91,143
13 利息の支払額	△ 27,866
14 法人税等の支払額	△ 878,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,021,665
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 有形固定資産の取得による支出	△ 534,096
2 無形固定資産の取得による支出	△ 617,870
3 その他	△ 450,588
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,602,554
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 短期借入金の純増減額（減少は△）	1,683,300
2 長期借入金の借入による収入	100,000
3 長期借入金の返済による支出	△ 186,450
4 配当金の支払額	△ 321,453
5 少数株主への配当金の支払額	△ 69,364
6 その他	△ 52,819
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,153,212
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 27,036
V 現金及び現金同等物の増減額（減少は△）	1,545,286
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,702,870
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	7,248,157

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（平成20年3月1日～8月31日）

当社企業グループは主として肉製品及び生肉加工品の製造、販売ならびに生肉の販売という区分に属する事業を行っており、また、市場及び販売方法等についても類似しております。

また、その他の事業については金額が少額のため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（平成20年3月1日～8月31日）

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	56,825,863	1,112,020	57,937,884	—	57,937,884
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	44,165	381,544	425,709	(425,709)	—
計	56,870,029	1,493,565	58,363,594	(425,709)	57,937,884
営業利益	2,119,502	164,905	2,284,408	(9,063)	2,275,345

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（平成20年3月1日～8月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。